

## Windows 11 Pro 端末へのアプリケーション導入にあたっての留意点

Windows 11 Pro へのアプリケーションを導入する場合は、事前に導入が必要なランタイムソフトのインストールを以下の通り変更する必要があります。

付属のDVDメディアに収納されているランタイムソフト、及び、取扱説明書(本体編)の4.4に記載されているダウンロードサイトに記載されているランタイムソフトを**使用せずに**、以下から最新のものをダウンロードして導入願います。

Windows11 Proの場合は以下から入手

- ・Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

<https://aka.ms/highdpimfc2013x64enu>

⇒ファイル名「vc redistrib\_x64.exe」

- ・Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

[https://aka.ms/vs/17/release/vc\\_redist.x64.exe](https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x64.exe)

⇒ファイル名「VC\_redist.x64.exe」

※その他は、取扱説明書(本体編)に従ってご導入し、最新のバージョンに更新ください。

### 取扱説明書(本体編)

#### 4.4 ランタイムソフトのインストール

本機のアプリケーションソフトの動作に必要なランタイムソフトは、付属のDVDに収録されていますのでご確認ください。

※資格確認端末に DVD ドライブが内蔵されていない場合は、別途、お客様自身で DVD ドライブをご準備ください

※ランタイムソフトは下記サイトより直接ダウンロードしていただくことも可能です  
・Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ  
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=40784>  
⇒ファイル名「vc redistrib\_x64.exe」

・Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ  
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=48145>  
⇒ファイル名「vc\_redist.x64.exe」

**こちらを使用しない** DVDをセットして  
ドライブを選択して

③DVDドライブの直下に配置されております下記インストーラーを実行し、ランタイムソフトをインストールしてください

※ I、IIの両方をインストールしてください

I. Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ  
⇒ファイル名「vc redistrib\_x64.exe」

II. Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ  
⇒ファイル名「vc\_redist.x64.exe」